

## JICA 教師海外研修 学習指導案・授業実践報告書

【報告書タイトル】世界の人々とともに～私たちにできる国際協力～

【実践者】

氏名	行場 二千佳	学校名	宮城県登米市立佐沼小学校
担当教科等	全科	対象学年（人数）	6年生（32名）
実践年月日もしくは期間（時数）	令和7年8月～12月（12時間）		

【実践概要】

<p>1. 主題名：世界の人々とともに          教材名：とものくらすわたしたち（6年：東京書籍）特別な教科道徳          内容項目：国際理解、国際親善          関連項目：公正・公平          関連するSDGs：1、2、3、4、5、6、8、10、12、16、17</p>	
<p>2. 単元目標          単元目標          ①世界の諸問題に目を向け、進んで他国の人々とつながり、国際親善に努めようとする態度を養う。          ②他国の人々も、日本と同じように、国の伝統や文化に愛着をもって生きていることに気づき、違いを尊重できる態度を養う。          関連する学習指導要領上の目標          ・他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。</p>	
3. 単元の評価規準	<p>①知識及び技能 SDGs の視点から自分の考えに根拠を持って話したり書いたりすることができる。</p>
	<p>②思考力、判断力、表現力等 友達の気づきを基に自分ができる国際協力について意見を述べることができる。</p>
	<p>③主体的に学習に取り組む態度 自分にできる国際協力について、今までの考えを基に友達と意見を交わしながら考えを深めることができる。</p>
4. 単元設定の理由・単元の意義	<p>【単元設定の理由】          世界のグローバル化に伴い、多様な価値観が生まれている現代において、子どもたちには互いを受容しともに未来を切り拓く力が求められている。ザンビアの学習を通して、国際協力について考えるきっかけとなり、地球で生きる市民として、これからどのように行動していくか対話を通して考えさせる。</p> <p>【単元の意義】          OECD EDUCATION 2030 における、教育の未来を示した「ラーニングコンパス（学びの羅針盤）」では「個人のウェルビーイングと集団のウェルビーイング」に向けた方向性を示している。これを達成するために最も重要なのは、主体的に考え、行動し、責任を持って社会変革を実現していくという意思や姿勢である。これから自分の人生を幸せによりよく生きるために学び、自分自身の幸福と共に、誰もが幸せに暮らせる社会を創り出すことを目指している。</p> <p>【児童観】          本校の児童は、多様な考えに触れる機会が多いが、外の世界とのつながりを感じにくく、自分たちの世界観だけで判断してしまうことがある。自分の考えを伝えても相手の話を聞いたときにどう受け止めて理解しているのか、具体的な実践へとつながらないことが課題である。          そのために、自己との対話や他者との対話を通して、よりよい生き方を考え続けることが重要であると考え。対話を通して、課題を自ら見出し、国内外の出来事や課題に対する探究的学習を計画的に取り上げていく必要がある。一人一人が同じ地球で暮らす一人として生きている自覚を持ち、人とつながることで互い</p>

	<p>のよさや自分との違いを感じながら学ぶことができるのではないかと考える。対話を通して、様々な意見を認め合いながらも、同時に共通の課題を見出し、互いにできることは何かを一緒に考える力を育みたい。</p> <p><b>【教材観】</b>          ザンビアの学習を通して、開発途上国が抱えている課題を自分事として捉えられる教材である。国外の課題に対してどう向き合っていくのか、国際協力にどう携わっていくのかを考え、実践意欲につなげられる教材である。</p> <p><b>【指導観】</b>          ザンビアの学習やロールプレイ等、主体的に自分のこととして捉えさせる授業の展開や教材の工夫から、より価値理解を深めさせる。そして、多面的・多角的な意見を出し合う中で、他者理解や人間理解にも迫り、今後の生活に生かし、未来を自己はもちろん、仲間や周囲の人々と共に未来を切り拓いていこうとする態度を育てる。</p>
--	---

5. 単元計画（全 11 時間）

時	『小単元名』・学習のねらい	学習活動	資料など
1	ザンビアタイム①（学活） ザンビアを知ろう 「ザンビアフェスティバル①」 ・ザンビアやアフリカについて知り、日本とのかかわりを感じる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ザンビアのコーヒーやルボスティー、紅茶を試飲したり、フリッターを食べたりしてザンビアの文化について興味を持つ。</li> <li>・教師が行った体験を聞き、ザンビアについて理解を深める。</li> </ul>	ワークシート①
2	ザンビアタイム②（学活） ザンビアについて知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ザンビアの文化について知る。</li> <li>・日本と比較しながら、ザンビアの学校や生活について考える。</li> <li>・心に残った写真をロイロノートで共有し合う。</li> </ul>	スライド
3	自分について知ろう（学活） ・自分の幸せについて考え、人ともに生きていくことの尊さや自分自身の未来について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルビーイングのカードゲームを通して、自分の幸せについて見つめ直す。</li> <li>・自分の中にある幸せについて友達と共有する。</li> <li>・自分はいつ心がわくわくするのかなど、生活を見つめ直す。</li> </ul>	ワークシート②
4	世界がもし100人の村だったら（学活） ・ワークショップを通して、世界の多様性や富の差について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォトランゲージやクイズ、ワークショップを通して、世界の課題に気付く。</li> </ul>	ワークシート③
5	貿易ゲーム（社会） ・シミュレーションゲームを通して世界経済の動きを擬似体験する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2クラス合同で行い、格差や開発途上国の状況について体験する。</li> <li>・国際協力の必要性や私たちに一人一人の行動の在り方について考えさせる。</li> </ul>	ワークシート④
6	発信しよう私たちのSDGs（国語） ・SDGsの学習を通して、課題に向き合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じた情報の発信の仕方ができるよう、自分から必要な情報を集める。</li> <li>・SDGsについて・自分が課題解決をし</li> </ul>	日本 UNICEF 協会 SDGs に関する副教材 JICA（SDGs を学べる教材）

		たいことについて3つ折りのパンフレットにまとめ、クラスみんなに発信する。	・さいころ ・冊子 パンフレット
7	ザンビアタイム③（家庭） 「ザンビアフェスティバル②」 ・ザンビアの主食であるシマを作って食べよう。	・ザンビアの国民食であるシマづくりを行い、ザンビアの食文化を感じ取らせる。	
8	ザンビアタイム④（学活） ザンビアについてもっと考えよう～国際協力とは～ ・あっていいちがいあってはいけないちがいは？	・ちがいのちがいカードを活用して、国内外の差や、国内での不平等さに気付き、自分と友達でも視点の違いや感覚のズレがあることを認識させる。	JICA 教師海外研修参加者の自作教材 ワークシート⑤
9 本 時	ザンビアタイム⑤（道徳） ・ともにくらすわたしたち～私たちにできる国際協力とは～	・ダイヤモンドランキングを活用して、世界に目を向け、世界の人々とながら面白さや、自分が今まで考えなかった様々な背景を知り、自分に何ができるのかを話し合う。 ・自分たちが行動したり、実践したりすることによって、世界中の人々が幸せに生活ができるのかを考える。	ワークシート⑥・⑦
10	世界とつながろう（学活） ・韓国の小学校とオンライン交流をしよう。	・隣国の韓国の文化について知り、世界には多様な文化があることを知る。	
11	ザンビアタイム⑥（学活） 私たちにできる国際協力	・アクションプラン作成し、できることを実践する。 ・p4cを活用し、今までの学習を振り返る。	

6. 本時の展開（9時間目） 本時のねらい：世界の諸問題に目を向け、他国の人々とながりを意識しながら、自分ができることについて実践しようとする態度を養う。			
過程・時間	○教員の働きかけ、発問および学習活動、（指導形態）	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 10分	1 教師の思いを伝える。 ○前時まで考えてきたことを確認する。（一斉） ・100人村や貿易ゲームを通して感じたことはなんですか。 C：ザンビア国内でも差がある。 C：不平等を感じた。 C：自分たちには何ができるのだろう。  ◎私たちはどう行動することが大切なのか考えよう。	・前時まで個人でのダイヤモンドランキングを完成させておくことで、意見が発言しやすいようにする。 ・SDGsの視点からも意見が言えるようにする。 ・児童に「なぜ国際協力が必要なのか。」「今の自分たちに何ができるのか。」等、考えさせたい視点を伝える。	・スライド ・A3 プリント ・今までの資料 ・ワークシート ・SDGsのパンフレット

<p>展開 25分</p>	<p>2 一緒に考える。(6つのグループ) ○ダイヤモンドランキングを活用してグループで話し合う。 ・SDGsの学習やザンビアタイムを通して自分たちがどうすることでザンビアの人たちは幸せに慣れるか考えてみよう。 C:優先順位が難しい。 C:どの立場で考えたらいいいのか分からない。 C:今自分たちにできるのはこれだ。</p> <p>3 全体で共有する。(一斉) ○グループで出た意見を共有する。 ・キャプテンが発表をする。</p> <p>○気持ちから振り返る。(一斉) ・今日の活動を振り返ってどんな気持ちが残っているのか、その背景には一体何があったのか書きましよう。 C:自分たち日本だけでなく、世界とつながって一緒に考えて行くことが必要だと思う。 C:分からなかった。今の私たちはこれからどうしたらいいのか、もやもやした。けれど、国際協力は大切だと思う。</p>	<p>・ダイヤモンドランキングのルールをスライドで確認する。 ・発言できない児童には、振り返りまでに自分の意見を表現できるように声を掛ける。 ・児童の気づきや呟きを拾いながら、背景や無意識に感じていることを引き出す。</p> <p>・問い返しや切り返しを入れ、どうしてそう考えたのか背景まで発言させる。</p> <p>・コミュニティボールを渡して発言しやすい雰囲気づくりを行う。</p>	<p>・コミュニティボール ・振り返りのワークシート</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>4 教師の説話(一斉) ・今もどこかで苦しんでいる人がいることを想像してみる。自分はどんな気持ちになるだろう。小さな歩を積み重ねることで、何か変わるかもしれないことがあります。私たちはみんな同じ空の下で、見えないけれど、ともに生きて支え合って生きているということ、つながっているということがみなさんの心の中に残り、誰かにその思いをつなげて欲しいなと思っています。地球に生きている一人の人間として。</p>	<p>・教師が海外研修を通しての互いの存在を尊敬し合い、尊重し合うことの大切さを伝える。 ・行動することで、現状はすぐに変化していくことを児童に伝え、児童の気持ちを引き出す。 ・一人の力では難しいことも、仲間がいることでできることがあることを伝える。</p>	<p>・スライド</p>
<p>○世界がもし100人の村だったら (池田香代子著 マガジンハウス 2001) ○ワークショップ版・世界がもし100人の村だったら [第7版] (DEAR 開発教育協会) ○新・貿易ゲーム 経済のグローバル化を考える (DEAR 開発教育協会) ○毎日小学生新聞×JICA「共につくる私たちの未来」 (SDGsを学べる冊子/JICA) ○Edu Town SDGs (東京書籍) ○SDGsを学べる教材 - さいころ - (JICA) ○SDGsを学べる冊子 - 毎日小学生新聞×JICA 「共につくる 私たちの未来」 (JICA)</p>			

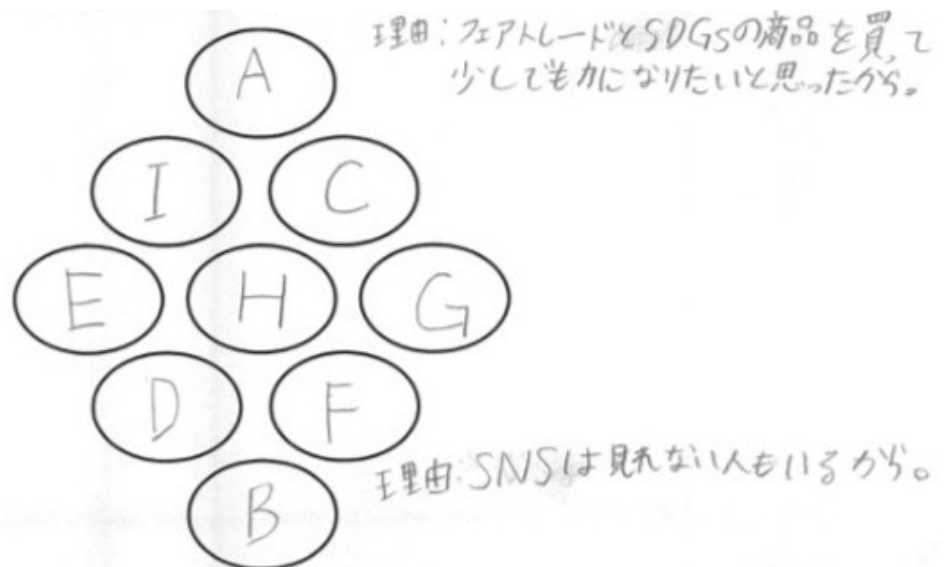
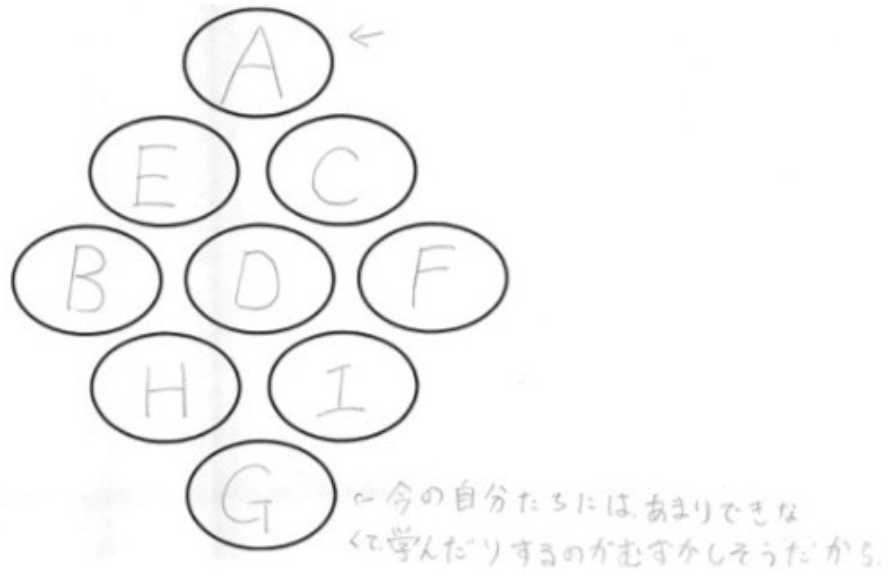
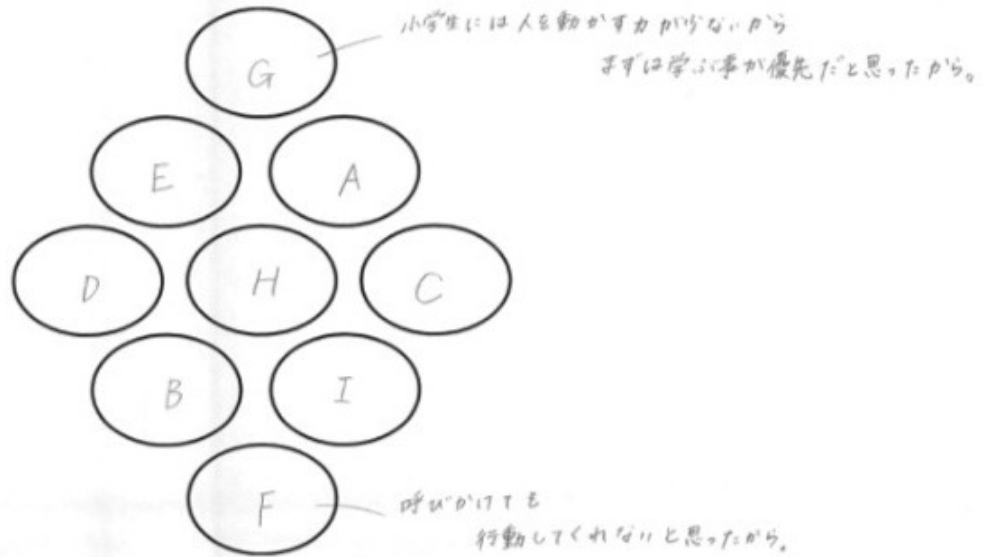
<p>7. 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が自分の意見を持って話し合いができるよう、事前に個人でダイヤモンドランキングを作成した。</li> <li>・ダイヤモンドランキングについては、道徳や国語の授業で事前に2回ほど取り組んでいたことでスムーズに行うことができた。</li> <li>・国語や社会、総合の学習で「フェアトレード」「NGO」「JICA」など、専門用語を事前に学習し、準備をした。</li> </ul>
---

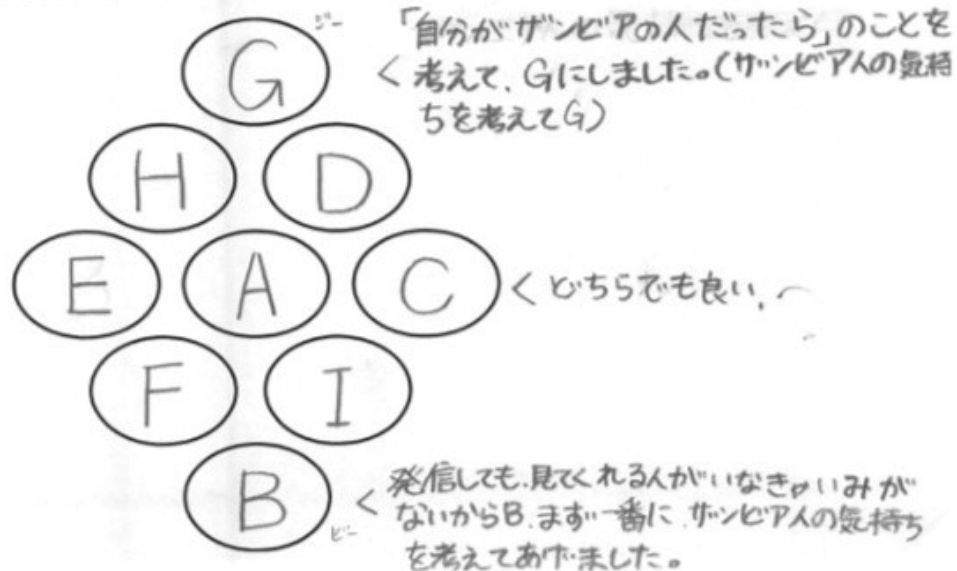
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の学習で行った SDGs のパンフレット作りを通して、児童の中に問題意識が芽生えていた。</li> <li>・指導過程では、本時の学習で考えさせたいことや気付かせたいことを意識して、授業を構成した。</li> <li>・自分たちにも「できる」ということを自覚させた指導の展開が必要であると感ずる。</li> <li>・児童からザンビアの衣装を着たいという意見が出た。ザンビアの魅力を感じている姿が見られた。</li> </ul>
<p>8. 学習方法及び外部との連携</p> <p>学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界がもし100人の村だったらワークショップ</li> <li>・貿易ゲーム</li> <li>・ちがいのちがい（2クラス合同）</li> </ul> <p>外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ザンビアに派遣されている協力隊の方に連絡を取り、再度児童から隊員の方の話や NGO の方の話しを聞きたいという意見が出た。</li> </ul>
<p>9. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学年の教員と国際理解についての授業に取り組み、他学級と交流を行った。教員同士と一緒に「ちがいのちがい」の内容を考え、開発教育の魅力を感じることができた。</li> <li>○掲示物や校内のチャット機能を利用して、開発教育指導者研修の啓発を行った。</li> <li>○韓国の小学校とオンライン交流時に、ザンビアについて考える時間を設けた。</li> </ul>

【自己評価】

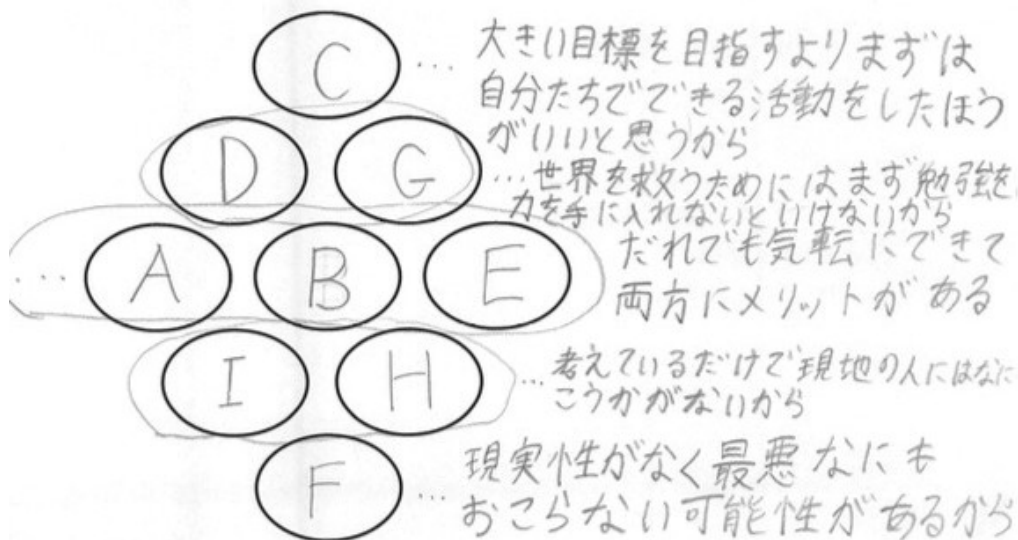
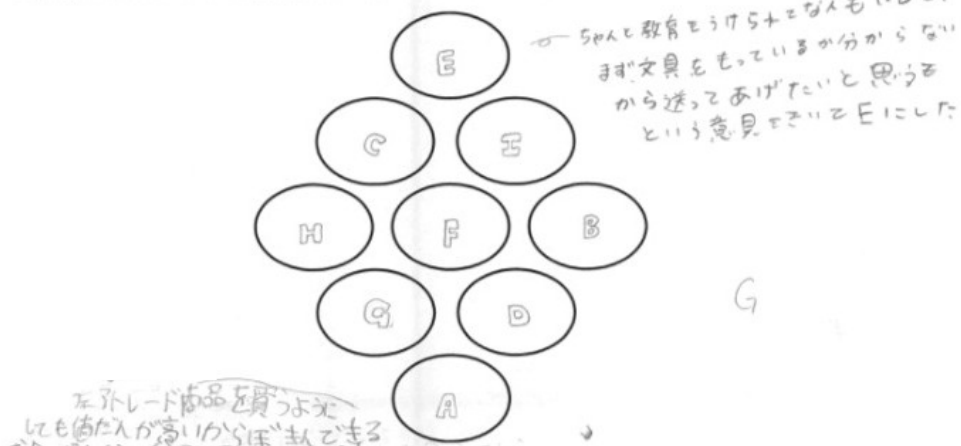
10. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統性のある授業展開を意識し、物事のつながりを大切にできるようにするために、授業の構成に時間をかけて考えた。</li> <li>・児童が国際理解について、自分なりの意見を持たせることを大切にしたい。意見交換だけでなく、対話を通して国際協力について、今の自分たちが無意識に考えていることを言語化できるようにした。</li> <li>・本時のねらいに向けてどのような手法が適切なのかを考えながら活動を進めた。児童の発達段階に合った指導を行うために、どのような手立てが適切なのか、チームのメンバーやコーディネーターと相談しながら考えた。</li> <li>・どれも濃い内容だったため、伝えたい内容が多くなり、どこをねらいとするのか、自分がぶれることがあった。</li> <li>・児童が自分達と一緒にいるところがあると実感できるような場面を提示し、徐々に考えていけるストーリー性のある単元計画にできるように考えた。</li> <li>・スライドに載せる写真</li> <li>・できることはないという児童の問いに対して、どのような切り返しができるのか悩んだ。</li> </ul>
11. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きから、教師が考えさせたい場面を想定し、教師のファシリテートする力が大切である。</li> <li>・問題は様々な要因があり、複雑化しているということ、1つだけを解決すれば良いという訳ではないことなど、意識させたいことが多くある。教師側で整理して提示する必要がある。</li> <li>・学習の流れを意識した問いかけをもっとできるようにしたい。活動一つ一つをつなげていくことで、アクションプランにも必然性が生まれてくる。</li> <li>・学校や他教員の理解を得るために、段取りやこちら側の意図をはっきりと提示していく必要がある。</li> <li>・年間計画やカリキュラムデザインをすることで継続的に実践できるように組み込んでいく。</li> </ul>
12. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童がザンビアの人の目線で考えようとする意識が高まり、真剣に向き合っている姿が見られた。</li> <li>・ダイヤモンドランキングでは、今の自分たちに何ができるのかと互いに意見を交わし合いながら、葛藤する場面が多く見られた。</li> </ul> <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の合間にも、ザンビアのことを気にかけてたり、アイスブレイクで行ってみたい国の人たち同志で集まった時も、ザンビアがあったりと、児童の心の中にザンビアの意識が生まれていたことに感動した。</li> </ul>

13. 学びの軌跡  
 ○ダイヤモンドラ  
 ンキング (6 班  
 分)





I 世界にはどのような国際協力が行われているか調べてみんなで共有する。



- ・ダイヤモンドランキングで対話を通して、児童が自然に意見をまとめるようになった。
- ・互いの意見を尊重し合ったり、質問し合ったりする姿が見られた。
- ・アフリカに対するイメージに変容が見られた。



気持ちからふりかえる

氏名 \_\_\_\_\_

- 本日の活動  
～ともにくらすわたしたち～わたしたちができる国際協力とは
- 本日をふりかえて、どんな気持ちが残っていますか、3つ選んでください。(あてはまるものがない場合、空欄に記入して丸をつけて下さい)

感動した	うれしい	ほっとした	くやしい
楽しかった	はずかしい	心配だ	がっかりした
勇気を得た	しかたがない	わくわくした	情けない
悲しい	腹が立つ	かわいそう	

- なぜそのような気持ちになったのか、何がそのような気持ちにさせたのかを短文にまとめよう。

みんなと話し合えて、自分ができること分かった

- そのような気持ちになった背景・理由について、また、感じたこと、考えたことについて書いてください。

グループのみんなで考えを伝えたり他のグループに行き、質問をしたりして自分ができることをたくさん分かった。JICAの人やNGOの人に話をきいたネットが周りの人にたくさん、ほっ、しん、なび、  
できることたくさんあった。

- クラスの人と「気持ち」を中心に考えたことや感じたことを話し合い、新たに考えたことや感じたことを書いてください。自分の中に出た問いを書きましよう。

今、本当にわたしたちができることは何ぞ!

気持ちからふりかえる

氏名 \_\_\_\_\_

- 本日の活動  
～ともにくらすわたしたち～わたしたちができる国際協力とは
- 本日をふりかえて、どんな気持ちが残っていますか、3つ選んでください。(あてはまるものがない場合、空欄に記入して丸をつけて下さい)

感動した	うれしい	ほっとした	くやしい
楽しかった	はずかしい	心配だ	がっかりした
勇気を得た	しかたがない	わくわくした	情けない
悲しい	腹が立つ	かわいそう	

- なぜそのような気持ちになったのか、何がそのような気持ちにさせたのかを短文にまとめよう。

その問題の解決方法はなにか考えると  
次々と案がでてきて楽しかった

- そのような気持ちになった背景・理由について、また、感じたこと、考えたことについて書いてください。

グループの人と意見を共有して他には  
何ができるか、自分たちでは何ができる  
かを考えた。

- クラスの人と「気持ち」を中心に考えたことや感じたことを話し合い、新たに考えたことや感じたことを書いてください。自分の中に出た問いを書きましよう。

僕たちの考えはまとまったので、これからは  
行動に移して少しでも問題が解決する  
のが早くなるようにしたい。

気持ちからふりかえる

氏名 \_\_\_\_\_

- 本日の活動  
～ともにくらすわたしたち～わたしたちができる国際協力とは
- 本日をふりかえて、どんな気持ちが残っていますか、3つ選んでください。(あてはまるものがない場合、空欄に記入して丸をつけて下さい)

感動した	うれしい	ほっとした	くやしい
楽しかった	はずかしい	心配だ	がっかりした
勇気を得た	しかたがない	わくわくした	情けない
悲しい	腹が立つ	かわいそう	

- なぜそのような気持ちになったのか、何がそのような気持ちにさせたのかを短文にまとめよう。

みんなと話し合えて、またザンビアの人たち  
ができていないことがたくさんあるから

- そのような気持ちになった背景・理由について、また、感じたこと、考えたことについて書いてください。

私たちができていることも、課題として残って  
いるから

- クラスの人と「気持ち」を中心に考えたことや感じたことを話し合い、新たに考えたことや感じたことを書いてください。自分の中に出た問いを書きましよう。

仮に交差して、それらに役あがるのか!



・何度も話し合いを重ねて、児童の思考が今まで自分たちの目線で考えていたのかもしれないことに気付いた。

・ザンビアに住んでいる人だったらどうなのかという視点を持つことを意識したことで、個人内の考えが深まっていった。前時の道徳の授業で、「誰一人取り残さない。」という言葉が発言していた児童がおり、その言葉を用いて授業を展開した。

・この振り返りを生かし、アクションプランを考えた。

○これまでの学習の内容を掲示（児童の気づきや振り返りを可視化した。）

### SDGs (国語) 2025/10

#### 優先事項ってなんだろう？

地球温暖化？教育格差？  
貧困・・・  
プラスチック問題  
フードロス

17番・・・  
世界の技術があればみんな  
で協力できるのでは？

私たちにできる  
ことって？

### ZAMBIA 2025/9

#### ザンビアフェスティバル

7月1日 毎一作別

### 国際協力とは？(学活)

#### 世界について知ろう

世界がもし100人の村だったら

日本の子供の数  
少ない？え？  
大人多くない？

アジアめっちゃ多い  
じゃん!!!  
意外にアメリカも多い  
ね！

え？何語？私と同じ  
言語のいないー

### 世界について知ろう

#### 貿易ゲーム(学活) 11/13

Aチームお金になる円を丁寧に作ろう！分担すると効率がいいー！  
C.D...何もない、ひまだ、交渉しよう！支援してほしい！

道具がないなら借りよう！  
融資してもらえるかな？  
トレードできるかな？格差  
があります。

マーケットで売ります。  
正確に作られていないとお金になりません。

細り細りからのキーワード

- ・国同士の支援や協力
- ・自分の国にないものを相手国に求める。
- ・お金を効率よく稼ぐ道具があったからできた。(Dの気づき)
- ・差別と貧困

### ザンビアフェスティバル② (学活) 11/14

#### NSHIMA(シマ作り (国民食))

最初は、メイズの粉を冷水で溶きます。汁湯に入れて蒸せ焼くと、  
ちろ汁が出てきました！！混ぜていくと粘りが出てきました。

シマ作りの振り返り

日本の食文化には馴染みがないので、  
シマ作りをしてみようと思った。  
最初は、メイズの粉を冷水で溶きます。  
汁湯に入れて蒸せ焼くと、ちろ汁が  
出てきました！！混ぜていくと粘りが  
出てきました。

### ちがいのちがい (学活) 11/13

誰の立場に立って考えたいのかな。  
日本ではよくないけど、ザンビアだったらどうなのかな。

生活スタイルや文化が全然違うから、分けるのが難しい。

どうすることもできないのだから

ちがいのちがいカード（児童の発達段階と教師のねらいに合わせて作成）

ザンビア国内では物の支援が入っている学校は理科の実験ができるが、支援の入っていない学校は理科の実験ができない。

12歳のザンビア人ボナくんは学校に通っている。12歳のマテロくんは家族のために石炭を売って働いている。

日本の家庭には洗濯機がある。ザンビアの家庭の多くは洗濯機がないため手洗いをしている。

日本では、呼ぶと救急車が来る。ザンビアでは、救急車が来られないことが多い。

12歳のザンビア人ジョイスくんは放課後、友達と遊んでいる。12歳のパティくんは放課後、家族のために手伝いをしている。

ザンビアの首都には、日本と同じように水洗トイレがあるが、ザンビアの地方では、穴を掘ってトイレにしている。

日本は蛇口をひねると飲み水が出る。ザンビアでは、井戸から水をくむ。

日本は毎週ゴミを分別し、そのゴミはクリーンセンターに集められる。ザンビアにはクリーンセンターがなく、1つに集められる。

日本は1人に1つ机とイスがある。ザンビアの学校では、2～3人で1つの机とイスを使っている。

ザンビアでは理科の実験ができる学校とできない学校がある。



日本のオムツのパッケージには、日本人の赤ちゃんがうつっている。ザンビアのオムツのパッケージには、様々な人種の赤ちゃんがうつっている。



ザンビアではシマを手で食べる。日本では、お米を箸で食べる。



日本の太郎くんは電気をつけて夜遅くまでゲームをしている。ザンビアのザンベ君は、暗くなる前に夕ご飯を食べる。



日本の花子さんは、日曜日の午前中に習い事をしている。ザンビアのビンセントさんは、日曜日に家族で教会の時間を楽しむ。



ザンビアのクリアさんは12歳で結婚する。日本の夏子さんは12歳で、学校で友達と楽しく遊んでいる。

ちがいのちがい 話し合い結果 (一部抜粋)



あつてはいけないちがいは

- 日本の電気がなくても生活できる。ザンビアでは、夜遅くまでゲームをしている。
- 日本のオムツのパッケージには、日本人の赤ちゃんがうつっている。ザンビアのオムツのパッケージには、様々な人種の赤ちゃんがうつっている。
- ザンビアではシマを手で食べる。日本では、お米を箸で食べる。
- 日本の太郎くんは電気をつけて夜遅くまでゲームをしている。ザンビアのザンベ君は、暗くなる前に夕ご飯を食べる。
- 日本の花子さんは、日曜日の午前中に習い事をしている。ザンビアのビンセントさんは、日曜日に家族で教会の時間を楽しむ。
- ザンビアのクリアさんは12歳で結婚する。日本の夏子さんは12歳で、学校で友達と楽しく遊んでいる。



あつていいちがいは

- 日本の電気がなくても生活できる。ザンビアでは、夜遅くまでゲームをしている。
- 日本のオムツのパッケージには、日本人の赤ちゃんがうつっている。ザンビアのオムツのパッケージには、様々な人種の赤ちゃんがうつっている。
- ザンビアではシマを手で食べる。日本では、お米を箸で食べる。
- 日本の太郎くんは電気をつけて夜遅くまでゲームをしている。ザンビアのザンベ君は、暗くなる前に夕ご飯を食べる。
- 日本の花子さんは、日曜日の午前中に習い事をしている。ザンビアのビンセントさんは、日曜日に家族で教会の時間を楽しむ。
- ザンビアのクリアさんは12歳で結婚する。日本の夏子さんは12歳で、学校で友達と楽しく遊んでいる。

14. 授業者による自由記述

- ・ザンビアのことが忘れられず、またザンビアを訪れている夢を見た。私の心に深く刻まれた研修となった。
- ・今回の実践を通して、私たち日本人は多くの国や目に見えない人々に支えられていることに改めて気付くことができた。自分の幸せは相手の幸せとは限らないし、自分が必要としていることは相手も必要としているとは限らない。だからこそ、出会った人との縁を大事にすること、対話を通して、互いの相互理解を深めることがとても重要になってくるのだと感じた。
- ・ODAの視点からも官民の連携の重要性を感じた。
- ・私たちは日本人としての自覚を強く持ち、政治や世界情勢にもっと関心を持たなければいけないと感じる。少しでも意識することで、私たちの生活は変化するのではないだろうか。教師が自ら挑戦し、児童との対話を大切にすることが一歩なのだと感じる。変化していくことを楽しみながら、自分にできることに取り組んでいきたい。
- ・今回「チーム」が大きな存在となった。挑戦し続けることを後押ししてくれる仲間、会えなくてもそれぞれの場所で奮闘し、悩み、もがいている。そんな時、ふと思出す笑顔。心の中にいて支えてくれる存在。私はこの研修を通して、かけがえのない仲間と経験を得ることができた。本当に幸運だと感じる。これからどんなことがあっても、私の挑戦を応援してくれていると思える。ザンビアという地で多くの時間を共有し、たくさん歌って語り合った時間が宝物である。最終報告会で団長が「ここからが始まり。」と話してくれた。私たちは今スタートし、これからも一緒に手を取り合いながらそれぞれの場所で突き進んでいく。
- ・私の挑戦を快く快諾し、応援して下さった校長先生、教頭先生、学年の仲間、学校の先生方。心から感謝致します。ありがとうございました。
- ・そして研修に全力で取り組めるようにバックアップして下さったJICA東北、二本松の皆様、JICAザンビア事務所の皆様ありがとうございました。
- ・私の小さな一歩を後押ししていただき、人生が変わった一年を導いてくれた皆様に感謝感激です。

## 本時のワークシート①

### 考えてみよう —ともに生きるということ

これまで、ちがいのちがいカードによって、ザンビアには貧困や水に関する問題など、地球的課題が多く存在していることに気が付きました。地球市民として、これらの問題に取り組み、解決していくことは、公平で公正な社会をつくるために、大切なことです。これらの問題を解決してSDGsの達成のために、私たちにできることはないでしょうか。これらの問題を解決するための取り組みとして、9つの方法が記されています。これらの行動の順位付けをしてみましょう。一番有効なこと、最初にすべきことを一番上の○の中に記入し、次にすべきことを2段目に、以下、最も遅くて良いこと、それほど効果が望めないものを一番下の○に記号で書き入れてください。

**A** お店で商品を買う時に、企業が環境保護や保全などの（CSR活動）取り組みを調べ、共感できる会社の商品を買うようにしたり、フェアトレード商品を買うようにしたりする。

**B** SNSや学校の行事などで、これらの問題について、家族や地域、他の学年など多くの人に発信する。

**C** 貧しい子どもたちの生活改善や医療環境改善のために活動しているユニセフへの募金活動をする。

**D** 将来社会貢献するために、今いろいろな活動に積極的に参加し、いろいろな力を身に付ける。

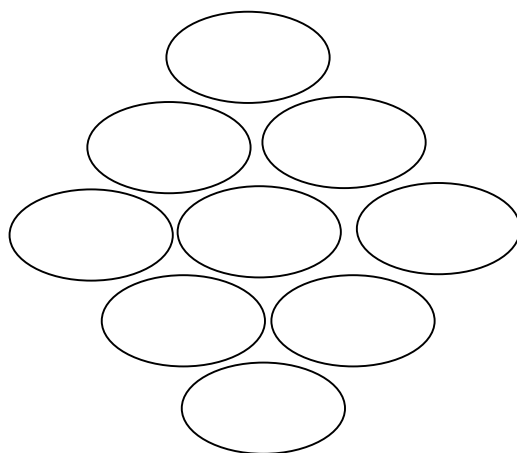
**E** ザンビアの子どもたちが教育を受けられるように、教材や文具などを送る。

**F** 署名活動や手紙を書いて、企業や日本政府が国際協力にもっと取り組むように呼びかける。

**G** JICAやNGOを訪問したり、職員に来てもらったりして、この問題について学ぶ。

**H** ザンビアの文化や人々の良さを認め、それらを尊重して受け入れ、仲間意識を持つ。

**I** 世界にはどのような国際協力が行われているか調べてみんなで共有する。



## 気持ちからふりかえる

氏名

1. 本日の活動

～ともにくらすわたしたち～わたしたちにできる国際協力とは

2. 本日をふりかえて、どんな気持ちが残っていますか、3つ選んでください。(あてはまるものがない場合、空欄に記入して丸をつけて下さい)

感動した	うれしい	ほっとした	くやしい
楽しかった	はずかしい	心配だ	がっかりした
勇気を得た	しかたがない	わくわくした	情けない
悲しい	腹が立つ	かわいそう	

3. なぜそのような気持ちになったのか、何がそのような気持ちにさせたのかを短文にまとめましょう。




4. そのような気持ちになった背景・理由について、また、感じたこと、考えたことについて書いてください。❤️


5. クラスの人と「気持ち」を中心に考えたことや感じたことを話し合い、新たに考えたことや感じたことを書いてください。👥自分の中に出た問いを書きましょう。


<p>クレアzambia</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスティニコミュニティスクールの5年生を担任しているわ。</li> <li>● 子供達のために働いて幸せだわ。</li> <li>● 日曜日にはみんなで歌を歌っている。神が私たちを敬い、愛してくれている。</li> <li>● どうしたらコンパウンドに住む子どもたちが学校に通えるだろう。できることを一生懸命したいだけよ。</li> </ul>	
<p>ボナzambia</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ザンビアの地方都市モンゼに住む小学6年生。</li> <li>● 放課後に友達と遊ぶのが好き。特にボール遊びが好き。</li> <li>● 日本の人が来てくれたけど、すぐにいなくなっちゃう。会えるのは嬉しいけれど、ずっといてくれない。</li> <li>● 家族がいて幸せだけど、1個、1クワチャのアイスも買うことはできない。</li> <li>● 数年後には働かなければ…。</li> </ul>	
<p>えみさん ● (JICA青年海外協力隊でザンビアに来て2ヶ月。地方のモンゼに配属)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ザンビアの地方都市、モンゼで働いている。</li> <li>● トイレの衛生問題や井戸など、水の問題に向き合っている。</li> <li>● 壊れた井戸は直した方がいいと思うが、ザンビアの人にとっては困っていない。</li> <li>● 一体何が出来るのか。優先順位は何か。モンゼの村に住んでいる人の気持ちを考えると…。でも本当に村の人が望んでいることを実現できるのだろうか。</li> </ul>	
<p>バドリックzambia</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴミ処理場の管理者。政府から直接依頼されて働いている。</li> <li>● ゴミ山に登録した人以外にも勝手に侵入して危険な目にあっている人をどうにかしたい。このままではいけないと思っている。</li> <li>● ゴミ山の問題に懸命に向き合っており、日本に行行って処理の仕方やゴミのことについて勉強に行っただけど、すぐに現状は変わらない。</li> </ul>	
<p>エリザベスzambia</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族のために、学校に行かずに石炭やニワトリを売って働いている。</li> <li>● 本当は今でも勉強したいと思っているが、家族のことを思うと働くしかない。</li> <li>● 夢はあるけれど、現実には、働いてその日1日を過ごすのが精一杯。日本から支援はあるけれど、続かないのよね。水のタンクは壊れて7年もそのままよ。今はこれ以上発展を望むことはできないと思うの。だって、自分たちにこれ以上どうすることもできないもの。1回だけ来た日本人がここを変えてくれるの？助けてくれるの？</li> <li>● 友達がコーヒー豆の栽培を頑張っているけど、フェアトレードまでいかないのよ。国内は価格が高くて飲めないわ。</li> </ul>	
<p>ドクターブチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ザンビアの首都ルサカにあるマテロ地区にある病院。</li> <li>● 看護師アニータが頑張ってくれているが、救急車は壊れていて、すぐに出勤することができない。</li> <li>● 月30クワチャで保険に入れるニマという制度があるが、入っている人は少ない。なぜなのだろう…。</li> <li>● 今日はレントゲンのフィルムが無くて、撮影することができないけど、外には患者さんがたくさん並んでいるよ。</li> </ul>	